

★ JP19で求められる適合性評価・不確かさを理解し、正しい秤量管理へ

★ 秤量手順・校正・SOP・査察対応まで実務を総点検

セミナーNo.610113

Live配信
または
アーカイブ配信

第十九改正日本薬局方に対応した 天秤・秤量操作の実務

～秤量手順、記録、SOP見直し、日常点検のポイント～

- 日 時：2026年10月9日(金) 14:00～16:30 ●聴講料：1名につき 38,500円（消費税込、資料付）
●会 場：Zoomを使用したLive配信（1社2名以上同時申込の場合のみ1名につき33,000円（税込））
※アーカイブ配信は10/21～10/31に実施 【大学、公的機関、医療機関の方には割引制度（アカデミック価格）があります。】

●講師：三興コントロール(株) 計測制御サービス事業部 校正技術部 部長 田村 純 氏

【このセミナーで学べる事】

- ・第十九改正日本薬局方における非自動電子天びん（以降天びん）の記載内容の確認
- ・上記に基づく天びんの選択、仕様確認、日常点検の考え方
- ・上記に基づく天びん操作の実施手順と注意点
- ・秤量結果の観測データ採取、丸め、単位、点検（校正）記録への反映
- ・上記に基づくSOP・教育訓練・外部査察対応で見直すべきポイント
- ・点検、校正、試験と検査の意味と正確な計測用語の使い方

【講座主旨】

- ・第十九改正日本薬局方における具体的な項目と解説。
- ・校正の不確かさ（バラツキ）評価の意味を考える。
- ・自社内における点検（校正）作業の限界とSME（外部試験機関）に委託したほうがよい項目の見極めの為の知見の獲得。
- ・器物検査的、伝統的に行われていた方法ではなく、GxPに基づく科学的・技術的に点検（校正）作業する為の知見の獲得。

【講座内容】

1. 第十九改正日本薬局方の於ける記載項目
2. 天びんの最近のメーカー仕様の見方、
その為の計測用語を正確に理解する
3. もう一度、天びんの設置環境の見直し
4. 天びんの日常点検（校正）作業の見直し
5. 校正結果から適合性評価へ
6. 点検（校正）結果から測定（秤量）結果を考える
7. DIと天びん
8. SOPの意味を知る
9. 天びん操作における社内の教育訓練
10. 外部査察対応で考えておくべき事柄
11. 製薬企業様からの問い合わせの例
12. その他

【講座内容】

◆◆講師プロフィール◆◆

専門分野： プロセス計測・制御システム設計、社内の測定・校正技術指導、顧客設備保全に関する支援業務
略歴・活動・著書など： 添付資料のほかに、国際製薬技術協会（ISPE）の日本支部で校正・保全COPに参画。
GMPは国内導入時から顧客下関連業務に従事

●申込方法

1. 申込書が届き次第、請求書・聴講券・会場案内図をお送りいたします。
2. お申し込み後はキャンセルできません。
受講料は返金いたしませんので、ご都合の悪い場合は代理の方がご出席ください。

「天秤・秤量操作」セミナー申込書

（Live配信/アーカイブ配信 下記のいずれかに☑を入れてください）

- ☐ Live配信 （No.610113） 開催日：10／9
☐ アーカイブ配信（No.610166） 配信期間：10／21～10／31

- ・申込書に必要事項をご記入の上、FAX（03-5436-7745）にてお申込みください。
- ・ホームページからも申込できます。https://www.gijutu.co.jp/

会社名	事業所・事業部		
住所	〒		
TEL	携帯電話		
	所属部課	氏名(フリガナ)	E-mail
受講者1			
受講者2			
今後ご希望しない案内方法に×印をしてください(現在案内が届いている方も再度ご指示ください) 〔 郵送(宅配便) ・ ショートメッセージ(携帯電話) ・ e-mail 〕			
個人情報の利用目的			
・セミナーの受付、事務処理、アフターサービスのため			
・今後の新商品、新サービスに関するご案内のため			
・セミナー開催、運営のため講師へもお知らせいたします			